

# 投光器 学習版

国労東海貨物協議会  
2013年9月10日 No.41  
発行責任者 鈴木 和巳

## もう勘弁してくれ～！

### 異常気象に人身事故、車両故障で労働者は本当にお疲れです！

またも貨物列車はガタガタに乱れています。このところの異常気象による局地的豪雨や竜巻の発生などが相次ぎ、8月後半から9月現在に至るまで、それこそ貨物列車が正常に運行している日は無い状況となっています。

日々の情報では人身事故、機関車や貨車の車両故障も目立ち、乗務員を筆頭に駅・検修・保全など、貨物会社内のほぼ全ての職場で超過勤務が発生していると思われます。

特に最近では10時間を軽く超えるような列車抑止が常態化しており、災害などでは多くの貨物列車が全体的に遅れるため、本来8時間を目途に送り込まれるはずの交代乗務員が来ないまま、機関車の中で缶詰となっている乗務員が大勢います。果たしてこの様な状況で安全が守られるでしょうか？



この時期、冷房が付いている機関車ならまだしも、冷房の無いDL機関車で6時間以上も待たされたという話も耳にしています。何故こんなに貨物列車が割を食うのか大きな疑問です。また先月号でも記載しましたが、駅職場においても遅れている作業列車がいつ到着するか情報が遅れ、何時間も待ちぼうけをすることが多々あります。どうしたらこの状況を改善出来るのでしょうか？

貨物会社の幹部は「分割民営化後における旅客会社との約束事が完全実施されていないことに問題があり、今後は旅客指令にも当時の約束事をよく理解してもらおう」などの意見も述べていましたが、旅客指令の実態はそうなっているとは思えません。噂では電車のダイヤが乱れている時に、優等貨物列車以外の貨物列車を走らせたことが本社に知れると「何故ここで貨物列車を走らせた」などの注意がされるようです。貨物列車の運行に関して言えば旅客指令頼みの部分が多いため、貨物本社は旅客会社（特にJR東海会社）に対してもっと要請を強めていただきたいと思います。

### 積載効率を上げることも重要ですが、 災害後の立ち上がりを早くしないと荷主が逃げちゃうよ～！

新会長は積載効率を上げることに全社員が一致協力していくよう求め叱咤激励をしていますが、そのことを否定する気持ちは毛頭ありません。

ただ、現在お客様から預かっている荷物のことを考えた時、列車の遅れが拡大していくようでは肝心の荷物も逃げてしまいます！

荷主にとっては自分の発送した荷物がいつ着くかは最重要問題です。列車の遅れが掴めないとその案内も出来ません。何とかこの状況を改善しないと貨物会社の未来は・・・



この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です！